

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 京都薬品工業(株)長田野工場第三製剤棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.30					3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-			
1 昼光率	バルコニーに面した限られた開口部を、執務室に有効に配分	4.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	バルコニー庇+ブラインド	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		2.0	0.15	-	-			
1 照度		2.0	1.00	3.0	-			
2 照度均斉性		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.8	0.25	-	-			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 換気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		4.5	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視	建物運用管理にて測定、記録を実施	4.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		2.8	0.40	-	-			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.60	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40	-	-			
1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m以上かつ、窓の設置	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	全館禁煙+リフレッシュスペース設置	4.0	0.33	3.0	-			
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新								
2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	-	
1	空調・換気設備	空調・換気エリアの系統分け、INV制御、配管・ダクトの吊り支持	5.0	0.20	-	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具、系統細分化、排水槽設置、受水槽の2槽化	5.0	0.20	-	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-	
5	通信・情報設備	PHS網、2階設置により浸水の危険性がない	4.0	0.20	-	-	-	
3 対応性・更新性			3.8	0.29	-	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	最小階高4.25m(3階階高)	5.0	0.60	3.0	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比=0.176	4.0	0.40	3.0	-	-	
3.2 荷重のゆとり		4000N/㎡	4.0	0.31	3.0	-	-	
3.3 設備の更新性			3.1	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性	PS内、天井内のみ配管	4.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		隣接公園よりの眺望、敷地内緑地、工業団地のシンボル性、壁面植栽の創出による	4.0	0.40	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率照明器具、配管の短縮化、高効率ポンプ ERR=27.5	5.0	0.43	-	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.29	-	-	-	3.5
4.1	モニタリング	生産系、原動系の電力量の測定	4.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型便器	4.0	0.40	-	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉材の使用	4.0	0.28	-	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材(路盤使用)、断熱材(グラスウール、ロックウール)、石	5.0	0.28	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.34	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の不使用	4.0	0.33	-	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		91%	3.7	0.33	-	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	ガス焚ボイラー	4.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場の確保、適切な駐車スペース(荷捌含む)の確保	5.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミ量種類の推計、分別スペースの確保、有価物回収	5.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			4.3	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明の抑制、屋外広告物無し	4.0	0.70	-	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	外壁ガラス面の抑制によりグレア発生なし	5.0	0.30	-	-	-	